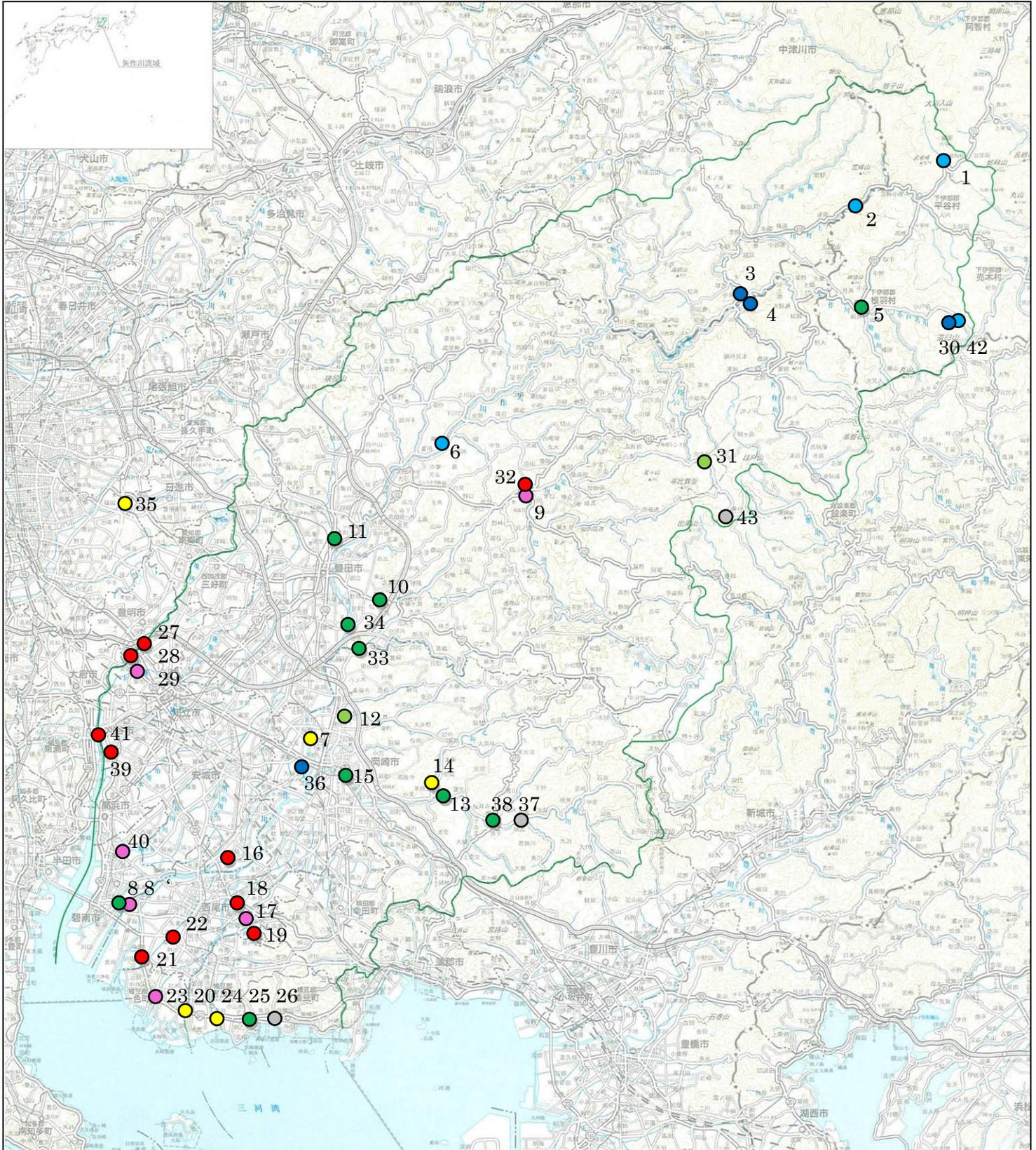


第 10 回身近な水環境の全国一斉調査結果 矢作川水系水環境マップ 2013.6.2 (AM, 晴・曇)

(実施日が違う地点 5/26 : No27、5/31 : No8、6/1 : No3・4・5・8・16・17・18・19・24・25、6/3 : No21・39・40・41)



水質 (有機物汚染指標) : 化学的酸素要求量 COD (単位 mg/l) 凡例

0	1	2	3	4	5	6	7	8以上
○	●	●	●	●	●	●	●	●



表 1 一斉調査時期の矢作川水系におけるアメダス雨量観測値 (単位: mm/日)

	茶臼山	稲武	小原	豊田	岡崎	一色	大府	摘要
2013.5.26								
2013.5.27								
2013.5.28							0.5	東海地方梅雨入り発表
2013.5.29	22.5	5.5	2.5	2.5	8.0	25.0	13.0	
2013.5.30	27.0	13.5	6.0	7.0	5.0	2.0	2.5	
2013.5.31								
2013.6.1								
2013.6.2	1.5							一斉調査日
2013.6.3								
累計	51.0	19.0	8.5	9.5	13.0	27.0	16.0	

(注) 6月2日の茶臼山は調査終了時後(夕刻)の降雨。

【解説】身近な水環境の全国一斉調査は、市民グループと河川管理者等が連携して毎年全国一斉に実施されています。当調査は簡単な調査キット(無償配布)を用います。調査結果はマップに表現されて、日頃親しんでいる身近な水環境の様子がわかる仕組みです。矢作川環境技術研究会は、国土交通省豊橋河川事務所からの案内を契機に、平成21年度事業に組み入れ、2009年度第6回一斉調査に参加し、矢作川水系22地点で行ないました。今回(2013年度第10回)は、会員参加で下記の43地点で実施しました。地図は今回の結果を流域マップで表わしたものです。今年の晩春は乏雨で例年より早かった梅雨入り後もまとまった降雨が少なく、調査時の河川流量は全般的に少ないことが特徴でした。このことは、地質・河床などの自然条件や人為的な利水による流況変化、産業や生活系の排水負荷、流下に伴う自浄作用などが水質に反映し易いと考えられました。

上流は人工林が多い森林山地で、人口流出と少子高齢化による人口過疎地域です。水源域は今回3~4mg/lの地点が増え、2mg/l以下の地点が減りました。農業排水・生活排水のほか、自然由来COD反応性の無機質の濃度上昇が考えられます。東名高速道路付近から以東の丘陵性低山地部は、ゲンジボタルが生息する地域で、平野部の開発と並んで土地の造成、道路等の社会基盤整備で人工改変量が進み、水質保全状況を注目されています。支流の各地点はほとんど4~6mg/lでした。値がやや高い地点は農業取水で生活排水や水田排水の比率が上がったことが考えられます。内陸でも足助地区は値が高く、生活系の排水負荷が考えられました。国道1号・東海道新幹線以南で知立バイパス沿いの支流・小河川は、7~8mg/l以上の地点が多く、毎年の傾向になっています。西方、衣浦湾奥の境川水系の河川下流の値も比較的高く、毎年の傾向となっています。これらは台地・丘陵で自己流量が少なく、デルタ低地まで農業・工業・上水の用水網が発達し、土地の人工改変量もそれらの排水比率が相対的に多いことが挙げられます。一方、三河湾沿岸の支流・小河川も農業排水がありますが、今回は値が低い地点が多く、変化が見られました。

このように、一斉調査によって流域の水質動態が視覚化でき、比較して今後の活動に繋げることができます。ご協力頂いた会員の皆様と主催の機関に感謝を申し上げます。

表 2 調査地点一覧(2013年度)

No.	河川・調査地点	No.	河川・調査地点
1	矢作川源流 柳川 源流の碑	23	一色排水路 間浜橋 一色町藤江
2	上流 上村川 明治用水水源林の明林橋	24	矢崎川 吉田大橋 吉良町吉田
3	上流 上村川下流(小田子地内) せきれい橋	25	鳥羽川 鳥羽橋 幡豆町鳥羽
4	上流 根羽川下流(小田子地内) 国界橋	26	八幡川 新後田橋 幡豆町西幡豆
5	上流 根羽川上流(根羽小学校付近) 平瀬橋	27	境川水系逢妻川 10K2 付近 R1 逢妻大橋
6	上流 富国橋 豊田市富田町, 国付町	28	境川水系境川 8K2 付近知立バイパス橋の下流
7	中流 日名橋 岡崎市日名西町	29	境川水系逢妻川 7K0 付近知立バイパス橋の下流
8	下流 棚尾橋 西尾市小柳町	30	根羽川上流・小戸名川、矢作川水源の森の沢
9	巴川上流 巴橋 豊田市足助, 香嵐溪	31	矢作川上流 段戸川上流(地内) 大橋
10	下流 松平橋 豊田市松平	32	足助川下流 落合橋 豊田市足助町蔵ノ前
11	籠川 籠川橋 豊田市伊保町	33	郡界川 郡界橋 豊田市・岡崎市境(巴川合流前)
12	青木川 青木橋 岡崎市青木町	34	矢作川中流 竜宮橋 豊田市竜宮町・野見町境
13	男川 学校橋 岡崎市生平町	35	天白川水系天白川 天白大橋 名古屋市天白区平針 1
14	乙川上流 築野橋 岡崎市茅原沢町	36	矢作川中流 「矢作橋」(国道1号) 左岸
15	下流 明代橋 岡崎市菅生町	37	男川上流 片寄の落差工
16	鹿乗川 北山橋 安城市野寺町	38	男川中流 夏山川合流地点より 300m 下流
17	広田川 駒場橋 安城市駒場町	39	猿渡川下流 県道 296 号、「巡見橋」より下流 500m
18	安藤川 江原小橋 西尾市江原町	40	高浜川(油ヶ淵流末) 県道 295 号、「明治橋」
19	須美川 宮下橋 西尾市善明町	41	逢妻川下流 県道 51 号、「平成大橋」
20	矢作古川 松大橋 一色町松木島	42	根羽川上流・小戸名川、矢作川源流の碑の下流(沢)
21	北浜川 刈宿橋 西尾市刈宿町	43	段戸川上流 段戸裏谷原生林の沢(原生林の出口)
22	二の沢川 白妙橋 西尾市山下町, 会館北		(注: No.8 は日を変えて 2 回行った。)

参加実施会社一覧(順不同)

(株)大林組名古屋支店、エヌエヌ環境(株)名古屋支店、大伸建設(株)、木村建設(株)、太啓建設(株)、金山建設(株)、成瀬建設(株)、柴田興業(株)、(株)安藤・間名古屋支店、(株)竹中土木名古屋支店、佐藤工業(株)名古屋支店、徳倉建設(株)、田中建設興業(株)、杉江建設工業(株)、長坂建設興業(株)、鹿島建設(株)中部支店、(株)近藤組、清水建設(株)名古屋支店、大成建設(株)名古屋支店、(株)奥村組名古屋支店、今泉建設(株)、内山緑地建設(株)中部支店、(株)太陽機構(計 23 社、小学生以下・中学生以上の学生を含む 48 人にご協力いただきました。)